

議 事 概 要

会議名	令和 5 年度 第 5 回 男女共同参画センター運営協議会	
日時	令和 6 年 2 月 16 日 (金) 19 : 00 ~ 20 : 40	
場所	中央公民館 3 階 第一会議室	
出席者及び 欠席者	出席者	13 名
	欠席者	1 名 (佐々木茂文委員)
	事務局	町民生活部 町民活動課 男女共同参画センター
	傍聴者	なし
次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 令和 5 年度事業報告について (2) 令和 6 年度事業計画について (3) その他 4 閉会	
あいさつ (会長)	<p>今年度最後の会議になる。来年度に向けた無駄のない会議にしたいと思うのでよろしくお願いいたします。</p> <p>男女共同参画というのを考えてきて何年も経つが、だんだん世の中が変わってきてわからなくなってきたというのが正直なところ。</p> <p>男女共生、ダイバーシティ、ジェンダー平等、ハラスメントといったものが多く出てきて、何が良くて何が悪いのか乱雑に入り混じっている気がする。</p> <p>以前の議論にもあったが、あれもダメこれもダメではなく、相手が嫌がるのがダメだときちんと理屈にあったことを考えて形にしていかななくてはいけないと常々考えている。そういうことを踏まえて、表面的ではない意見を出し合っていければなと思うのでよろしくお願いいたします。</p>	
議題	事務局	<p>各案件に対して検討に要すると思われる時間を考慮し、議題の順番を変更させていただきたい。</p> <p>最初に、(3) その他の 1.小・中生意識調査から入り、その後に (1) 令和 5 年度事業報告、(2) 令和 6 年度事業計画の順に進めさせていただきたい。</p>
	会長	事務局の要望順に沿って進行する。

議 事 概 要

	<p>(3) その他</p> <p>1.阿見町男女共同参画に関する小・中生意識調査（令和7年度）</p> <p>事務局から説明後、質疑応答&総合討論。</p> <p>事務局</p> <p>阿見町として、本調査は小・中学生の考え方や感じ方の実態把握を目的として行っている。</p> <p>本調査は3年に1度実施しており、対象は小学5年生と中学2年生としている。これにより、小学5年生が3年後に中学2年生になり、同じ集団の意識がどのように変化したかを把握することが可能になる。</p> <p>その一例として、問14「男は仕事、女は家庭を守り子育てをするという考え方をあなたはどう思うか」について、「1.賛成」「2.どちらかといえば賛成」の割合が、小学5年生時に約60%だったものが、中学2年生時では30%を切るといった変化が見られた。</p> <p>本調査結果については、教育委員会や各小中学校などにも報告しているが、以前本会議の場で、内容が今の小学生にとっては当たり前となっている設問がある、設問を見ることによって男女に差があるものなのかという認識を植え付けさせていないか、といった意見もいただいている。</p> <p>今後、調査を継続するか否か、調査するのであればどのように進めたら良いのか、ご意見を伺いたい。</p> <p>佐藤委員</p> <p>調査を継続した方が良いと考える。先ほど説明があったように、小学生の場合は「女は子育て、男は仕事」という固定概念を持つ人が結構いるということだが、古い価値観を親から学んでしまう人もいる。そういった傾向がどのように変わっていくかなどを知ることができる。もし、継続しないのであれば、別な方法に拠ってでも行った方が良い。</p> <p>近藤委員</p> <p>問14もそうだが、賛成-反対ではなく、「家庭による」のではないか。こちらが正解・間違いというのは違うような気がする。「あなたは どう思いますか」といった聞き方もあるのではないか。集計は難しくなるが、考える機会にはなると考える。</p> <p>木村委員</p> <p>その家庭それぞれの事情があるので、あれがいけない・これがいけないといった決めつけは良くないと思う。しかし、こういうこともあるんだよと考える時間・機会として本調査のようなことが必要ではないか</p>
--	---

議 事 概 要

会長	<p>と思う。性別はあまり関係ない時代にはなるが、でも性別があることは確かなので、もう一度考えるうえで本調査があってもいいかなと思う。</p> <p>前回調査票 1 ページ上段【ご協力をお願い】3～5 行目「男女共同参画」とは、男子・女子といった性別に関係なく、一人ひとりの性格や長所を生かして、いろいろなことをみんなで協力し合い互いにいきいきと暮らすことのできる社会のことです。」は、この答えに合わせないとダメだと思わせてしまう、誘導してしまうのではないかと気になる。単純にデータだけほしいのであれば、いっそのこと目的を言わないくらいの調査でもいいのではないか。</p>
國武委員	<p>毎年の調査であれば負担だが、3 年に 1 度の調査であれば継続してもらいたい。</p>
遠藤委員	<p>本調査を最初に始めるにあたって、小学 5 年生が中学 2 年生になった際に同じ子の考え方がどのように変化したかを知りたいとということ、設問の記載がどちらにもわかりやすいようにと無理に寄せた部分がある。その辺を工夫すれば、もっと今の子どもたちの考えを知るうえで参考になるのではないか。</p>
会長	<p>本調査を継続することについてはよろしいか。反対がなければ「実施する」方向で話を進めて行きたい。</p>
委員一同	<p>了</p>
井上委員	<p>目的をはっきりさせる必要がある。3 年に 1 度国勢調査のように意識や情勢を確認するというのはわかるが、この調査票では小学生にとっては内容が難しくわかりにくいのではないかと思う。</p> <p>データが集まったらどうするのか。</p>
事務局	<p>当初の目的は、3 年間で同じ子がどのような意識の変遷があるかを知るためである。現在、調査結果は学校に配付し、また、町の男女共同参画プラン策定時の基礎資料として利用している。</p> <p>小学生にとってこの設問が適切かの判断は職員にとっては難しいので、教育委員会の指導室にも助言をいただき、また、回答の際は教師から解説を加えながら行っていると聞いている。わからないことがあつ</p>

議 事 概 要

	<p>たらそこでフォローしてもらっているのではないかと思う。</p>
新橋委員	<p>意識の変化を調査するということであれば設問の継続性も考慮する必要がある。</p>
事務局	<p>これまでは、男女共同参画に関する調査として典型的な定型設問であったと認識している。今後について、メイン（核）となる設問は残したいと考えている。一方で、あまりメインとならないであろう設問については、時代に即した設問に替えてもいいかなと考えている。逆にそうしないと現状の把握が難しくなる。</p>
井上委員	<p>小学生はこの設問を理解できているのか。</p>
事務局	<p>学校現場から「難しい」「直してほしい」といった声は聞いていない。</p>
会長	<p>目的（意識の変化を調査する）については理解していただいたか。</p>
委員一同	<p>了</p>
井上委員	<p>結果データを誰が評価してコメントを付けて公表するのか。学校にフィードバックするのであれば専門家の分析・コメントが必要ではないか。</p>
事務局	<p>確かに私たちは専門家ではないので分析は困難であり、あくまでも現在の子どもたちの状況を把握するために調査を行い、それを学校にも提供して利用してもらうことも目的として考えている。</p>
会長	<p>今の説明だと前回までの目的と異なる。これまで、私たちがなりのコメントを付記してフィードバックしてきた。今回はフィードバックの方法が変わるということか。</p>
事務局	<p>そもそも本会議に入るまで、調査を実施するか否か、内容をどうするかが未確定であったことから、正直フィードバックの方法までは腹案を用意していない。意識調査においてデータの集計・分析・評価をセットとしてフィードバックするという意識があったのでこれまでの報告書の内容となっていた。専門家でない者のコメントが適切か、そのコメ</p>

議 事 概 要

	<p>ントで子どもたちに変な先入観を与えはしないかといった危惧もある。現時点では事務局としても確固たる案を持ち合わせていない。</p>
会長	<p>先ほどの事務局の説明から、分析・評価のコメントは必要ないことになるが。目的としては、データとして3年間の推移をみることができ、そのデータを何かに活かすことができるということになるのではないか。</p>
事務局	<p>事実としての数値の増減などの推移・変化についての記述までは考えているが、その先の掘り下げ方についてはまだ整理できていない。</p>
会長	<p>今回の目的からすれば、結果を子どもに返すことは想定していないと理解した。前は、何でも盛り込もうとした報告書のように違和感を覚えた。</p>
井上委員	<p>コメントが必要であれば、大学の専門家などに依頼するのも一案かと考える。</p>
遠藤委員	<p>当初から専門家に分析・評価を依頼する計画はなく、現状をデータとして把握し、何かに活かせればというものであった。</p>
近藤委員	<p>町が小・中学生の考え方などを把握する目的について伺いたい。</p>
事務局	<p>町の施策に利用するためである。</p> <p>学校現場では男女共同参画が進んでいると思うが、一方で地域性やまわりの環境や意見の影響により「男は仕事」などの思い込みがあると思われる。それは調査してみないと把握できないと考えている。それをどう利用するかは学校現場では教師の判断であり、町としても結果を踏まえて何ができるかの材料と考えている。</p>
新橋委員	<p>来週、中学校の評議委員会があるので、この調査結果が役立っているかなど聞いてみたいと考えている。</p>
会長	<p>ここまでで一度整理する。調査は継続して行うこととするが、分析・評価まで行うかについては現時点では保留とし、今後検討を継続することとする。</p>

議 事 概 要

委員一同	了
会長	次に設問についてだが、事務局から、メイン（核）となる残したい設問、あまりメインとならないであろう設問、代替となる時代に即した設問についての（案）を聞いてから検討に入りたいと思う。
事務局	<p>今の時点で外したくないと考えている設問は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問 3「あなたは、大人から「男（女）らしくしなさい・男（女）のくせに」のように言われたことがあるか」 ・問 4「問 3のように言われたらどう思うか」 <p>これらについては、本人の考えはもちろんだが、本人を取り巻く環境を知ることができる設問であると考え。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問 8「あなたは家の中で家事は誰がするのが一番良いと思うか」 <p>設問の仕方は考える余地はあるが残したいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問 14「男は仕事、女は家庭を守り子育てをする」という考え方をどう思うか」 <p>選択肢は考える余地はあるが残したいと考えている。</p> <p>外してもいいかなと考えている設問は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問 11→先入観を与えてしまう設問になっている ・問 12→学校現場では進んでいる、残すとしても検討が必要 ・問 13 (1) →同様の意味を持つほかの言葉を知っているのではない か <p>参考ではあるが、時代に即した新たな設問として、他の自治体では、視点を変えて、例えば「将来のこと」（例：将来の夢、将来の職業、結婚をどう考えるか、子どもを持ちたいか）、「女性のリーダー」（例：児童会長になりたいか、その理由）といったことを重点に調査している事例がある。</p>
会長	「男の人が料理をすることはどう思うか」といった時代遅れの設問は避けるべきであり、例示のあったような時代に即した設問にしていくこと、大きいところから聞いて本質を知るといった設問が必要と理解した。

議 事 概 要

長尾委員	問 12 の設問より、先ほど事務局から例示のあった設問のほうが時代に即していると思う。
遠藤委員	設問のたたき台ができるのはいつ頃になるか。
事務局	新年度早々に着手するが、数か月は要すると考えている。方向性が決まれば進むと思う。
緑川委員	設問の順番について決まりごとがあるのか。
遠藤委員	<p>最初は知りたいことを並べて、教師たちに確認してもらい了解を得、調査の回答の際も 1 時間割いて教師から説明してもらいながら実施したと聞いている。</p> <p>設問の順番は、年齢などから入る一般的なイメージによるもので、決まりごとはなく、最初の順番を踏襲しているものと思う。</p>
緑川委員	もし順番が大事なのであれば、あまり削ったり足したりはしない方がいいのではないかと思った。
井上委員	問 12 の状態区分でこの設問だけ「女性」「男性」を使用していること、問 12 (1) の「役員」といった用語が気になった。
事務局	用語など気になったところは仕上げていく過程で追々修正していく。
佐藤委員	問 12 の状態区分は左から女性→男性の順だが、他の設問は男性→女性の順となっているのが気になる。
会長	<p>この順番というのも大事な視点であると考え。今後設問を考える際には検討が必要になると思う。</p> <p>問 5、問 6 の選択肢は変えてもいいのか。影響はないのか。</p>
事務局	影響はあまりなく、変えてもいいと思う。3 年間の推移をみるのであれば、細かい選択肢とするより、もう少しまとまった括りでの選択肢とした方が良いのではないかと考えている。

議 事 概 要

会長	<p>問 1 (1) 性別について、選択肢の設定がいろいろあり検討が必要と思われる。こういうところが結果にすごく反映すると考える。</p> <p>これまでの検討内容を参考に着手していくことでいいか。</p>
事務局	<p>性別については教育委員会の指導室に相談した。</p> <p>作業着手にあたって、設問の構成として、大きな内容としてこれまでの設問の中で重要と思われる設問は引き続き押さえ、細かいところで今の設問を踏襲しつつも現代風に変え、さらには皆さんから個性的な設問をいただければ設問に入れるか検討するというようなことを想定している。</p>
井上委員	<p>中学生になって意識の変化があった場合など、どうして意識が変わったかがわかるような設問を中学生版の最後に設けてはどうか。</p>
遠藤委員	<p>ネット利用が関係する設問なども現状把握につながるのではないか。</p>
高野委員	<p>設問の設定如何で調査結果に影響を与える。問 1 (1) 性別については、選択肢の再考が必要ではないか。「どちらかに○」というのも回答者には負担に感じることもある。設問によっては「該当するものに○」という手法もあるのではないか。</p>
迫田委員	<p>問 1 (1) 性別について、身体的特徴による性別か性自認による性別か回答者が混乱しないような設問とするような工夫が必要と考える。</p>
会長	<p>以上を踏まえて、事務局作成のたたき台をベースに次回も検討を進められたらと思う。</p>
委員一同	<p>了</p>
事務局	<p>(1) 令和 5 年度事業報告について</p> <p>事務局から、順次説明後、質疑応答</p> <p>1.男女共同参画センター運営協議会</p> <p>当初の計画回数の 5 回を資料のとおり実施した。</p>

議 事 概 要

事務局	<p>2.センター講座</p> <p>当初の計画回数の 5 回を資料のとおり実施見込みである。明日開催の第 5 回講座については準備を終えている。参加者が募集定員を下回ることが続いており、委員各位の協力もいただきながら改善に努める。</p> <p>第 4 回講座のアンケート結果を資料2として配付したのでご確認願う。</p>
事務局	<p>3.啓発活動 4.協働団体等への協力等 5.研修（受講）</p> <p>資料に記載したとおり、ほぼ当初の計画どおり実行した。</p>
会長	<p>令和 5 年度事業報告について了承ということによろしいか。</p>
委員一同	<p>了</p>
	<p>(2) 令和 6 年度事業計画について</p> <p>事務局から説明後、質疑応答&総合討論。</p>
事務局	<p>1.男女共同参画センター運営協議会</p> <p>令和 5 年度同様、開催回数は 5 回を想定している。</p>
事務局	<p>2.令和 6 年度センター講座（案）</p> <p>令和 5 年度同様、開催回数は 5 回を想定している。</p> <p>これまでに、事務局として手持ちの講座候補をすべて共有した。その中から委員の関心が高かった 6 件を令和 6 年度講座候補としている。その内訳は、着手中のものが 4 件、残り 2 件は次回以降の協議会に具体的に諮っていきたいと考えている。</p> <p>なお、令和 6 年 7 月から令和 7 年 3 月まで工事のため中央公民館及び体育館が使用不可となるため、他所への予約が殺到することが予想され、早めの日程調整・予約が必要となる。アとイについては開催日時と開催場所を確定させていただいた。</p>
事務局	<p>ア. 気象予報士による「やさしい気象情報と防災」の話</p> <p>各委員から寄せられたご意見等を踏まえつつ整理したものが資料3になる。講座の中身についていただいていたご意見等は講師予定者にも伝えて共有している。</p> <p>本日は、「主題・副題」について決定したい。委員各位のご意見をふ</p>

議 事 概 要

	<p>まえて再考した（案）は資料3のとおり。</p>
事務局	<p>イ. テレ朝出前講座 子ども用講座を1月16日に申し込み、1月23日に当選通知が来た。先方から示された内容（案）は資料4のとおり。特段の支障がなければこのまま進めたいと考えている。</p>
事務局	<p>ウ. 歴史から見えてくる男女共同参画 これまで提示してきたとおり話をすすめているところ。</p>
事務局	<p>エ. ぼらりす教室 先方に確認したところ、申込時期は4月中旬からとのことであった。懸念事項としては、時期、場所及び参加者確保が挙げられる。大学生等の参加の確率が上がるであろう時期・曜日などの条件について伺いたい。申し込みにあたっては時期と場所を第3希望まで記載する必要がある。</p>
会長	<p>【質疑応答&総合討論】 アとイについては前回からの流れで「これいいね」というところから始まっているので実施する方向で話を進めたい。場所や開催日は今更動かせないので、考えるとしたら広報についてとなる。 ウについても以前提示されたパネルも含めて委員各位が「いいね」ということだったので、このまま進めてもらった方が行ったり来たりしない方がいいかなと思う。 エに関して、仮定で結構なので、もし参加するとしたらいつだったら参加しやすいか学生の方に伺いたい。</p>
佐藤委員	<p>来年度、自分自身は授業もなく研究だけなので、いつでも参加が可能ではある。</p>
今坂委員	<p>平日は授業やアルバイトがあるので土曜日・日曜日の方がいいと思う。夏休み期間は帰省者がいるので外の方がいいと思う。ちなみに大学の夏休みは8月・9月である。</p>
近藤委員	<p>自分自身は実家が近くよく帰省するので、逆に夏休みの方が時間的に余裕を感じる。普段は授業やアルバイトなどがあり、土曜日・日曜日</p>

議 事 概 要

会長	<p>といえども余裕をあまり感じない。</p> <p>提示された講座(案)より別のものをということでは逆戻りしてしまうので、実施するというを前提で皆さんからのご意見を伺いたい。</p> <p>アについて、広報においては教科書のような文言では響かない。例えば、「阿見町ってどうなの」「阿見町だったらどう備えたらいいの」とか、具体的に知りたいと思うような書き方がチラシは有効かなと思う。書き手が納得している文章であってもきれいな文章は響かないので、逆に「これは何を言っているのだろう」と少し考えさせるようなものの方が響くと思う。阿見町の気象の特徴を聞くことに関心があるので、「阿見」をもっと強調してもいいと思う。</p>
遠藤委員	<p>主題と副題を入れ替え、以下の方がいいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 主題：阿見町の気象の特徴を知り、災害に備えよう！・ 副題：気象予報士による「やさしい気象情報と防災」の話
佐藤委員	<p>主題と副題の入れ替えに賛成する。</p>
委員一同	<p>了</p>
井上委員	<p>地震の話は入らないのか。</p>
事務局	<p>これまで講師予定者との打合せでは触れてきていない。能登地震のこともあるので今後の打合せの際に持ち出してみたい。</p>
会長	<p>阿見町職員が能登に派遣された。今回は難しいかもしれないが、体験を聞いてみたい。</p>
井上委員	<p>報告会というわけではないが、この中に入れて話してもらいたいものではないか。</p>
会長	<p>今回の4件については、ここ何年かの男女共同参画に係る講座の中で一番テーマに沿ったものと思う。</p>
井上委員	<p>費用について記載があるが、先方が了承しているものか。</p>

議 事 概 要

事務局	先方からもおおよそこの程度の目安ということで了承をいただいている。
会長	以上の検討結果を踏まえて講座の準備を進めてもらうこと、委員各位とは逐次意見交換や進捗情報の共有を図ってもらうことでよろしいか。
委員一同	了
井上委員	「テレ朝出前講座」の講師予定者はアナウンサー経験者か
事務局	相手の経歴は未確認だが、当初対応していただいた当該部門の責任者も記者経験者として講師をしていると聞いているので、今回の講師予定者（女性）もアナウンサー経験者ではないかと思う。 なお、前回話題に出た「テレ朝出前講座」の大人向け講座については、令和7年度の講座となりうる可能性が高いことは先方に確認している。
	3.啓発活動 (省略)
	(3)その他
事務局	長尾委員が仕事の関係で町外に異動されるため、今回をもって退任することとなった。これまでのご協力に感謝申し上げます。退任にあたりご挨拶をいただければ幸いです。
長尾委員	阿見町在住 30 年になる。当協議会には初回から参加している。当初は子どもも小さかったが今では社会人となり、長かったような短かったような思いである。4 月から町外に異動するため退任せざるを得なくなった。あまり意見も出せずお役に立てたかはわからないが、皆様には大変お世話になり御礼申し上げます。
事務局	2.令和6年度第1回運営協議会の開催日程 (案)として5月中旬～下旬を想定している。時間は午後7時から、場所は中央公民館3F第一会議室。 開催日を金曜日とすれば、5月17日、24日、31日のいずれかを考えている。場所の確保の問題もあるので、4月早々には、前述の3日で

